

2/25 人権・同和教育講演会 開催 演題「グリーンケアにふれる」

吾郷公民館において、例年開催しています、人権・同和教育講演会を開催しました。

今回は、講師に唐溪悦子さんをお迎えし、「グリーンケアにふれる」と題して講演をしていただきました。

そもそも、グリーンケアとは大切な人やものなどを突然失くした時などに抱く悲しみや喪失感に襲われた状態の時に、さりげなく寄り添い、援助する事をいいます。

いつもとは少し違った講演会の内容で、みなさんでワークショップ形式で参加して学ぶ形態でした。少し難しい作業でもありましたが、興味深く真剣に向き合わせ、貴重な時間を過ごされました。



イベント告知

春の軽スポーツ大会 開催

3月24日(日) 午前9:30 吾郷公民館 集合



多数ご参加下さい

- 吾郷地域内ウォーキング (乙原方面)
- グラウンドゴルフ (吾郷公民館)

お茶・ご飯パック(ちらし又は炊き込み) 配布

雅ねえのおもしろ講座

3月26日(火) 午前10:00~午前11:30

場所：吾郷公民館

農作業や畑仕事の始まる春。動物達の動きも活発になって来ます。自分たちで出来る獣害対策について、雅ねえから楽しい話題も含めて教わります。

放課後児童クラブ 吾郷で道場

芽衣子の日記

Vol.34
文・引地芽衣子



『受け継がなくていい伝統…』

学年が上がると下の学年に抑圧的になったり、言う事を聞かせる立場に優位性を見出しちゃう伝統…

自分もされたから低学年にもやり返していいんだ、と大きな勘違いの悪習は止まらない。

そんなこんなで、最近では毎日の様に本気過ぎる討論会!

幸い…ギャーギャーと怒りながらもちゃんと聞いてくれるみんなには感謝も止まらないですが。

大人・子ども・年上・年下、女性・男性、上司・部下、属性だけの認知、これが歪の原因。

誰かより上の『立場』だと思っちゃってる人が言う事が本当に正しいのか?見極める術を身につけよう、実は間違ってる事も結構多いんだよ~!

そんなことを、もっと柔らか~い表現で伝える努力をしている。

そしてその為には自分から!!

間違った事を言った時は、直ぐに謝罪。

『いいよ!』と笑って許してくれる、このやり取りこそが重要なのだと。

自分以外の存在を尊重する伝統を新しく作っていこう。

それは誰かの為だけでなく、自分の為にもなるんだよ。と…討論会はまだまだ続く。笑

令和6年4月の予定 (公民館・連合自治会)

開催日	内容	開始時間
5日(金)	ニコニコ健康教室	9:30~
11日(木)	ペーパークラフト教室	10:00~
18日(木)	お茶でも飲んで話そう会	10:00~
19日(金)	ニコニコ健康教室	9:30~
25日(木)	グラウンドゴルフ	10:00~

令和6年2月末現在
吾郷地域(8自治会) 世帯数と人口
世帯数 232(先月同じ)
494人(男性252・女性242)(先月同じ)



吾が郷 あごう

公民館だより

Vol.68 令和6年3月20日発行 TEL74-2166 FAX74-2167

3/9 学べる木工教室 開催

場所：吾郷体育館 10:00~12:00 講師：神社仏閣建築 株式会社 石原建築様
なんと3月だというのに、屋根に雪が積もってる。それもよりによってこの日に。吾郷体育館において、「学べる木工教室」を開催する朝でした。

ブルーヒーターに火を付けながら、何人来てもらえるか、そんな心配をしながらスタッフの皆さんと準備にとりかかりました。そして10時、開始の時間になり、なんと体育館には52名の参加者で賑わいました。石原建築様の宮大工の仕事の紹介、今回米子から来て頂いた纏屋 和田板金様の和田社長から自分たちの仕事の紹介をしていただきました。その後、参加者の皆さんは、銅板削り出し、かんな削り、組子細工、ボンボン作りなどの体験を楽しみました。また、安田兼子さんの絶妙な味付けの小豆たつぷりのぜんざいもあり、会場内は寒さを吹き飛ばす熱気で盛り上がりしました。



「やあ、久しぶり。どがあしどる…」

お茶でも飲んで話そう会

第23回
令和6年2月22日

2月の「お茶でも飲んで話そう会」。22名の参加がありました。今回は、役場から山根副町長、健康福祉課 岩谷さん、情報・未来技術戦略課 辻さんの3名にも参加していただきました。

副町長はぜひ地域のみなさんと話が出来ればということで参加され、各テーブルで話に花が咲きました。健康福祉課岩谷さんには、誰もが陥る危険のある「低栄養」について講習していただき、食生活の大切さを学びました。情報・未来技術戦略課辻さんには、会場内でスマホの使い方についての相談をフリーで受けていただきました。

尾原豊さんが持参された剣玉遊びも熱が入り、参加されたみなさんにとって、内容の濃い会となりました。



旅立ちの季節 中学校 卒業

3月は卒業のシーズンです。

吾郷地域でも6名の中学生が卒業を迎えました。大きく一步大人への階段を登ります。

彼等にとって、コロナ禍の学校生活も経験し、長い3年間だったのか、それとも短い時間だったのか、それぞれ感じ方は異なると思います。きっと保護者のみなさんはあつと言う間と感じて居られるのではないのでしょうか。その卒業生から中学校生活の思い出について寄稿してもらいましたので、ご紹介します。

● 中田 明星さん (邑智中・乙原)

3年間の思い出。

一番記憶にあるのは、修学旅行です。みんなで楽しく3日間を過ごせました。愛媛と香川と、岡山の鷲羽山ハイランドに行きました。班で自由行動したり、うどんを作ったり、ホテルの美味しいご飯を食べたりして、とても幸せな3日間でした！

この3年間で、たくさんの思い出を作り、学ぶ事がとても多かったので濃い3年間でした。

お世話になった先生や、支えてくださった地域の方、保護者の方全ての人に感謝をしています。

● 熊谷 岳砥さん (邑智中・吾郷)

3年間の思い出。

邑智中学校での3年間は、しんどいこともありますが、楽しいこともありました。どちらが多かった、どちらが少なかった、とはっきりとは言えません。同じくらい、いろいろなできごとがあったと思います。

特に楽しかったことは、修学旅行です。2年生のとき、人形浄瑠璃を観る事ができました。人形が、本物の人間のように動いていたので驚きました。

また、体育祭も心に残っています。3年生のときは、応援練習で1・2年生たちを教えました。青組が優勝できるように、自分から積極的に後輩に声をかけました。全員一緒になって、盛り上がったので嬉しかったです。

僕はこれから、石見養護学校高等部に進学します。面接試験では、少し緊張しましたが、自分の言いたいことを伝えることができました。石見養護学校では、作業学習を特にがんばりたいです。自分たちが作った製品を、たくさんの人に買ってもらいたいです。美郷町にも販売に来ると思います。皆さんに喜んでもらえるよう、心を込めて取り組みます。

● 中村 心晴さん (大田一中・吾郷)

私は、3年前大田市立第一中学校に入学しました。入学当時は、慣れない環境で不安もありましたが、次第に環境に慣れて充実した学校生活を送ることができました。その中で新型コロナウイルスの流行で、様々なことが制限され、何もできない状況が悔しかったです。しかし制限される中、今できることを全力で頑張ることを実感できました。

また、私がここまで成長できたのも、何不自由なくいろんなことに挑戦でき、周りの支えもあったからだと思います。この先必ず恩返しができるように頑張ります。高校生活では、目標であるインターハイ出場や勉強を日々努力し続けたいです。

● 平木 楓さん (邑智中・吾郷)

中学校での生活は、毎日がとても充実してました。2年生での修学旅行!!みんなで計画を立てて街を回ったり、遊園地に行ったり、とても楽しかったです。美味しい食べものいっぱい食べれました。

3年生で、最後の体育祭・文化祭!!体育祭準備期間では、最後で良いものが作りたいという気持ちが大きくて、揉め事も、苦勞したこともたくさんあって大変だったけど、毎日がとても充実していて、とても楽しかったです。体育祭本番では、赤も青も全力を出し切って、競うことができて良かったです。

文化祭では、最初は息も合わないし、声が小さいし、不安な気持ちもあったけれど、練習していくうちにどんどん良くなって、文化祭本番では、とても良い合唱をすることができました。結果、最優秀賞をもらったので、とても嬉しかったです。

そして遠足!!コップを作り、小学校ぶりにアクアスに行き、久しぶりのアクアスは新鮮で面白かったです!!砂浜に行った時は、途中ハプニングもあったけれど、とても楽しかったです。

中学校では、たくさんのことを学ぶことができたり、たくさんの思い出ができてたりして、一生の宝物になりました。

高校に行っても頑張ります。

● 山下 柊大さん (邑智中・港)

3年間の思い出

僕の1年生の時の思い出は、三瓶研修です。三瓶研修では班のみんなでカレーを作ったり、山登りをしたりしました。みんなで楽しく過ごすことができました。

2年生の頃の思い出は修学旅行です。僕達は、四国に行きました。本当は京都や大阪などに行きたかったけど、四国でも思い出に残るくらい楽しいことができたのでとてもよかったです。

3年生の思い出は、体育祭です。チーム内で揉めることや、ケンカをすることもありましたが、凸実に優勝することができ、よかったなと思いました。

● 水黒 美海さん (邑智中・吾郷)

卒業おめでとうございます!
新たな夢に向かって頑張ってください!